

カイはすごい!!

荒尾市立万田小学校 ひまわり組 4年生

栗林海成・八石 蓮
渡部 鍊・原田優真

1 研究のきっかけ

3年の理科でモンシロチョウを育てたので、4年生ではカイコを育てることにチャレンジしました。学校の近くに桑の木もあるのですが桑の葉をあげているうちに、さわれる人、さわれるようになり、みなでのお世話をがんばりました。モンシロチョウを育てたときと、ちがうことがたくさんあったので、みなで気づいたことをまとめたり、実験したり調べたりしていきました。

2 研究の方法

(1) 成長の観察 ($5/20 \sim 6/27$)

3令の幼虫をネットを買った。教室でお世話をしながら、長さを計ったり写真をとったりした。

(2) まゆの糸取り (9/10)

冷としていたまゆも水につけて、にて、糸を黒い画用紙にまいていた。

3 研究の結果

(1) 成長の観察



わかったこと

○工のえさから桑の葉もあげたすと、もう工のえさは食べつぱいことがわかりました。
○一度、ザンガイの葉をまぜてみました。一匹が近づきました。けれどしばらくすると全部カノコが桑の葉を食べてました。
○アノ成虫は、メスの成虫が孵化するまでじっとしていた。メスが孵化すると、すぐに動かし文屋君の一日くはく、7月24日
○成虫になって死んだ。でも、本当に何も食べませんでした。

(2) まゆの糸取り



気づいたこと

- 木の糸はとても細く見えにくかったです。
- まゆの中にはサナギとくしくしに
にじみこんだものがありました
(それは、卵かたの皮(か)皮(かわ)でした)
- 虫用紙に書いた糸をさるるとお
気付きのつたです。
(ごまき回して
きりぎりすの音(おと)が)
- まゆから木と成ると
つとーといひました。

4 研究の考察

- ・モシロキョウは成虫でもえさを食べるが カイコは成虫になったらもう食べないのな させたと思えた
- ・モシロキョウは藪から守るために葉のうらに1とすのIまごをうむが カイコはまとめてうんでいた。
- ・モシロキョウとちがって幼虫にもよからるとうがらつく。(アゲハの幼虫ににしていた。)

5 石研究の感想

- ・特に心にのこったことは命の大切さです。成虫になってた二週間に生きられない。非常に残念に
思いました。けれど、それでも頑張るカイコに非常に感心しました。これからも生き物を大切にします。
・最初はおしゃべりませんでした。だんだんおしゃべりするようになりました。かわいくなってきたので。また育てたいです。
・カイコはすごいです。人間が糸を取るのに、いっしょにかわいっていったからです。(飛ぶ女性と)
・カイコをさわれるようになってよかったので、でも成虫になって、文彦と彼が、糸を吐くので、またのめりかそうでした。